

高リスク骨髄異形成症候群および低芽球数 AML-MRC における同種造血幹細胞移植前ブリッジング治療 研究のご案内

1. 研究の対象

2017 年 1 月から 2021 年 12 月まで当院において診断された高リスク骨髄異形成症候群（IPSS-R：intermediate 以上）および芽球数 30%未満の骨髄異形成関連異常を伴った急性骨髄性白血病（AML-MRC）の患者さま

2. 研究目的・方法

高リスク骨髄異形成症候群および低芽球数 AML-MRC は難治性の骨髄性腫瘍であり同種造血幹細胞移植が根治的な治療となりますが、移植前の最適な橋渡し治療（ブリッジング治療）については定まっていません。本研究は、当院で治療をされた方の診療録情報を用いて移植前治療と、移植到達率、移植転帰などについて解析を行う後方視的研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、投与量、投与した日数、副作用等の発生状況など

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は行いません。

5. 研究組織

りんくう総合医療センター 血液内科
安見 正人 上條 公守 釜江 剛 烏野 隆博

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

りんくう総合医療センター 血液内科 烏野 隆博（研究責任者）

住所：大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

電話番号：072-469-3111